

# シャフト形状・スライドシャフト

## ■シャフト形状

### 標準

#### 六角型シャフト

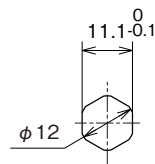
■対応機種：φ48.6・φ50・φ57・φ60.5・ターバ

### NOTICE

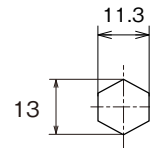
- 標準シャフト以外は別途ご指示ください。
- その他につきましては、お問い合わせください。

### ▶寸法図

#### ■シャフト寸法

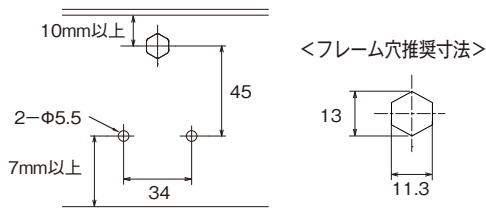


#### ■フレーム穴参考寸法



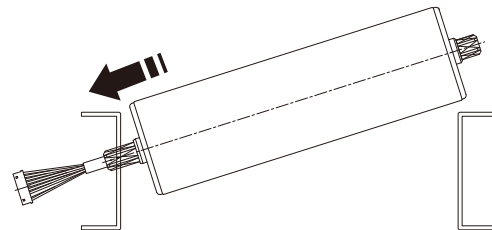
## ■取付方法について ●コンベヤフレームにPULSEROLLER®SENERGYを取り付ける。※取付金具「PR-D-30H-PU-N」使用の場合

### 1 コード側のフレームに、下記寸法の穴加工をします。



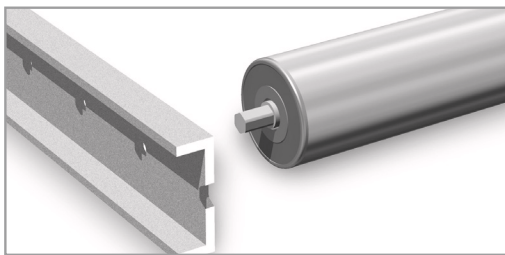
※フレームの厚みが3.2mm以外の場合は、別途ご相談ください。

### 2 PULSEROLLER®SENERGYのコネクタ付コードをフレームの取り付け穴に通してシャフト部をフレームに差し込みます。



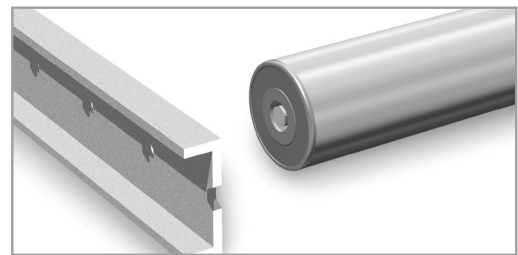
### 3 反コード側のシャフトをスライドさせてもう一方のコンベヤフレームに差し込みます。

スプリングの力によって戻るので、PULSEROLLER®SENERGYの着脱はコンベヤフレームを分解する必要はありません。



### POINT

- スライドシャフトは図の様に、押すと端面までは入ります。フレームに取付け後は、スプリングの力で元に戻ります。スライドシャフト付PULSEROLLER®SENERGYの場合、着脱にはコンベヤフレームを分解する必要はありません。
- ※φ48.6・50.0は、完全にスライドしません。(カラー部約4mm程度残ります)



### NOTICE

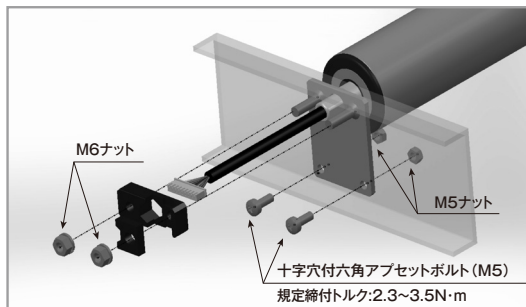
- 製作可能最小ローラ幅によっては、スライドシャフト機構付ではない場合もあります。確認の上ご使用頂きますようお願い致します。
- PULSEROLLER®SENERGYをコンベヤに組み込む時、シャフトに競りが発生しないようにしてください。

### 4 固定金具を十字穴付六角アプセットボルト(M5)を使用しフレームに取付けPULSEROLLER®SENERGYを固定します。

規定締付トルク：2.3～3.5 N・m

スライド金具は、仮固定してください。

※コードを傷付けない様にお気を付けください。

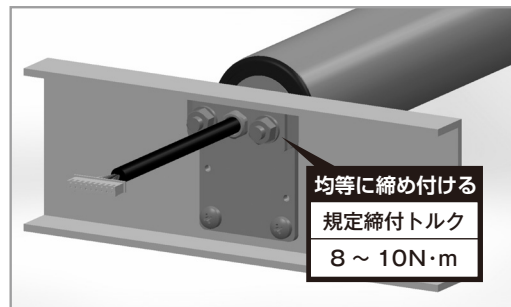


### 5 固定金具のナット (M6) を左右均等に締め上げます。規定締付トルク：8～10 N・m

※締付けが緩いとシャフトが空回りし、

コード断線等の故障の原因となります。

※フレームの内側とシャフトカラー部分 (4mm部分) があたるように設置してください。



### ⚠ 注意

- ・コンベヤフレーム又は取付金具にコードを通す時にコードを傷付けない様にお気を付けください。
- ・取付金具は、弊社指定の物を使用し確実に固定してください。
- ・フレーム内寸法とPULSEROLLER®の隙間を2mm程度確保するようローラ幅を選定してください。

ドライバー  
カード

ブラシレス

ターバ

各種仕様

運動

ライニング

オプション

シャフト形状

PDU90  
PPU  
PSU30

設計上の  
注意